• Passaggio •　Maki Nakamura　中村真木展

パッサッジョー形の中を歩く (2005 年 茅ヶ崎市立美術館 展示風景より)

NUMAZU CITY 100th Anniversary

第 420 回 ぬましんストリートギャラリー

2023 4.3 mon. → 5.12 fri.

沼津市制 100 周年を迎える今年度最初の企画は、世界で活躍する彫刻家中村真木展で始まります。世界主要都市において設置されているモニュメントでその名が広く知られています。
当ギャラリーで開催できますことに、各関係者のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

中村真木　プロフィール

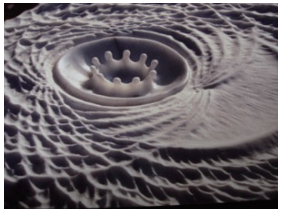
1947 山口県下関市生まれ , 7 歳の時両親とともにイタリアへ、幼年期をローマで過ごす
1964 ～ '67　イタリア・ローマ国立美術アカデミーを卒業 (ペリクレ・ファッツィーニに師事)
1968　　仏　パリ、エコール・ド・ボーザール国立美術大学彫刻科留学
　　イタリア大理石の産地カッラーラ市に赴き大理石加工技術を学ぶ
1970 ～ '72　東京芸術大学大学院修了
1987 ～ '88　国際ロータリー財団職業研修奨学金授与、アメリカ、ボルチモア・インスティチュトカレッジ・オブ・アート大学院で制作
現在、1974 年よりイタリア・カッラーラに工房を構え、イタリアと日本を往復しながら制作活動を続ける

主な受賞歴
1991　二科賞
1993　二科会員推挙
1997　大阪市パブリックアート賞
1998　大阪市アメニティー表彰
2000　モレッティグループ・サード・ミレニアム国際コンペ賞
2001　二科会員賞　（2005 年　退会）
2006　サードミレニアム国際彫刻賞
2011　リーメンアルテ 2011　表彰
2012　カラーラ市より民事厚労章 “国際女性年 3 月 8 日賞”

主な個展及び活動
1977　ギャラリーシュナイダー、ローマ
1981　ギャラリーユニバース、東京
1988　アアロン・ギャラリー、ワシントン、USA
1990　ギャラリーユニバース、東京
1992　小西ギャラリー、京都
1995　阪神淡路大震災で崩壊し再建された神戸司法書士会館へ彫刻「生命の木」寄贈
1996　ギャラリール・グルップ、カツラーラ、イタリア
1997　大阪サクラ・アートミュージアム
　　ロータリー財団奨学金 50 周年記念展、大磯滄浪閣
2002　東京芸術大学彫刻論講義
2005　イタリア・トリノ市県庁舎チステルナ宮庭園
　　茅ヶ崎市立美術館
2007　3 都市巡回展ベニス・ローマ・カッラーラ市
2008　オリエアート・ギャラリー 25 周年記念展、東京
2009　那須ストーンプラザ、栃木県那須芦野
2011　東日本大震災義援展をカッラーラ市にて企画
2014　阪急デパート・イタリアンフェアー、大阪
2016　中部イタリア震災のための義援展企画
2018　ドゥオーモ画廊　カッラーラ、イタリア
　　アール・ブリュット・ジャパン（日本の障害児の絵画展）をカッラーラ市で企画）
　　オリエ・アート・ギャラリー、東京
2019　ヒルサイドテラス・エキジビションホール、東京
　　スリジャナインターナショナル　シンポジューム、ネパール
2022　SIC 国際彫刻公園のための制作依頼　ヴィテルボ、イタリア
ヨーロッパやアメリカなど多くの国際グループ展に招待出品

主なパブリックコレクション
観行寺、横浜 ／ブルーヒル・カルチャーセンター、ニューヨーク／ピエトラサンタ市原型美術館／神戸新司法書士会館ビル／京都伏見月桂冠本社ビル／安土町文芸セミナリオ／安土町立図書館／安土町文芸の里公園／都市整備公団関西本社ビル／新藤田ビル、大阪／大月町高知／リレ＆シャトーアルベレータ、イタリア／那須オルゴール美術館／カラーラ市商工会議所／キーコーヒー本社ビル東京／茅ヶ崎市美術館／ グッビオ市立現代美術館　イタリア／財団カッサ・ディ・リスパルミオ、カラーラ／東邦大学佐倉看護専門学校／ベルバリ・ネパール／SIC 国際彫刻公園ヴィテルボ、イタリア

1983　生々世々
横浜



1986　始まり
ミラノ、イタリア

1988　ウエーブ
ブルーヒル・カルチャーセンター、NY

1993　天の川、玉屑の石庭
京都

1994　生命の木
滋賀県

1994　安土スペイン広場
滋賀県

1994　安土スペイン広場
滋賀県

1995　パッサッジオ
大阪

1996　未来への門
高知

2001　ルーナ
カラーラ、イタリア

2001　私の内に
ブレーシア、イタリア

2001　白天林
東京

2008　ダフネ III
グッビオ、イタリア

2022　SIC 現代彫刻公園
ヴィテルボ、イタリア

2022　SIC 現代彫刻公園
ヴィテルボ、イタリア

中村真木は、ローマ芸術大学で私の指導の下に学んだ。年若く卒業した後も制作を続け、そしてカラーラから再び私の前に現れた彼女の最近の作品を目にしたとき、私は疑いもなく彼女が彫刻家として円熟したことを認めた。石との触れ合いを通して、彼女は具象的制作方法を象徴的な意味で一新するに到った。彼女の彫刻が祈りの様な神秘感を漂わせていると言ってもいつわりではない。彼女にはこの感覚を鋭い感受性によって象徴として把えたのである。何よりも私の心を打つものは、彼女の〝時〟というテーマの探究である。それは我々の感情や魂を宇宙空間の中に伸ばし拡げようとしてくれるからだ。
表現があってこそ、沈黙の形象の世界は生命をもってくる。ともあれ、フォルムの追求の世界に足をふみ入れた彼女に、この我々の道の中で、よりよき制作と豊かな将来の実りを願ってやまない。

1981 年 9 月 15 日　ローマ

ペリクレ・ファッツィーニ

中村真木は日本、フランス、米国での生活を経て、ここ数年間イタリアのカツラーラで年の大半を過ごしている。
国際状況下での現代美術界において、伝統的素材と技術を捨てることなく積極的に主張し活動する重要な代表作家の一人である。
無形のものから感じ得る何かを具体化することによって逆に〝空〟を作り出す、そのパラドックスは禅の思想に繋がっている。

美術評論家　ルチアーノ・カラメル

〝トータルな表現としての彫刻〟1997 年 CHARTA 出版より抜粋

沼津信用金庫本店 〒410-8610 沼津市大手町5-6-16
TEL 055-962-5200

沼津信用金庫本店のウィンドウギャラリー
JR 沼津駅南口より徒歩 5 分／夜 10 時までライトアップ

ぬましんストリートギャラリー
https://www.numashin.co.jp/street/